

# 大阪市立図書館の目標 5年間の検証(平成24～28年度)

「大阪市立図書館の目標 5年間の検証(平成24～28年度)」は、図書館法第七条の三に基づき、大阪市立図書館がその運営の状況について評価を行うもので、図書館の公開してきた年度目標についての進捗と成果について自己評価を行う。(評価:◎→目標以上 ○→目標どおり △→目標以下 ×→成果なし)

構成	I. 概要	1
	II. 主要指標と評価の概要	2-3
	III. 各指標項目の実績値と評価・分析	4-13
	IV. 資料編	14-19

## I. 概要

### ■ これまでの経過

大阪市立図書館は、平成19年～22年度の4年間で「知識創造型図書館改革プロジェクト」により、定型業務の民間委託等効率的な運営体制を構築してコストを削減するとともに、開館日数の拡大等利便性の向上、調査相談機能・情報サービスの高度化、市民協働による子どもの読書活動の推進等を図った。平成23年度に行った自己評価において、概ね目標値を達成し、平成24年度から「いつでも、どこでも、だれもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な“知識創造型図書館”」を基盤として、さらなる発展と再構築を基本目標とし、地域図書館においては「地域創造図書館」構築に向けた取組を進めることとした。

### ■ 4つの柱について

平成24～28年度の5年間について、

1. 地域の情報化拠点施策の推進(知識を創造する図書館へ)
  2. 各区の子どもの読書相談支援センターとしての機能強化(人と、心を育てる図書館へ)
  3. 学校図書館の活性化支援
  4. 効率的な運営体制の確立
- を柱として取組を進めた。

1. 知識を創造する図書館へ

2. 人と、心を育てる図書館へ

3. 学校図書館の活性化支援

4. 効率的な運営体制の確立

### ■ 5年間の総評

#### 1. 地域の情報化拠点施策の推進

平成26年1月のシステム更新により図書館ホームページのアクセス件数が飛躍的に増加し、電子図書館機能の提供とあわせて非来館型サービスの拡大による図書館利用が増え、地域の情報拠点としての機能拡充を果たしている。今後は、モバイルでの利便性の向上を図り、一層の利用拡大を目指す。

#### 2. 各区の子どもの読書相談支援センターとしての機能強化

子育て支援施設や学校等と連携して子どもの読書活動推進施策を推進し、ボランティアに対する継続した活動支援を行って各区の図書館を軸とした子ども読書活動に取り組むネットワークを形成している。引き続きティーンズ世代の図書館利用の拡大に向けた取組を進めるとともに、子どもの読書活動を支援するネットワークの拡大を目指す。

#### 3. 学校図書館の活性化支援

従前から実施している学校への団体貸出等連携事業の拡大に加え、平成27年度から学校図書館活用推進事業の事務局機能を担い、学校図書館の環境整備を進めた。引き続き児童生徒が主体的に読書に親しめるよう、学校図書館の活用に向けた支援を進めるとともに、指導部や区との連携強化を進める。

#### 4. 効率的な運営体制の確立

新たな歳入方策については実現できず、歳入は微増にとどまっており、ネーミングライツの実現等歳入の増大に努めるとともに、新たな他機関との連携拡大に向けた取組を進める。

## Ⅱ. 主要指標と評価の概要

### 1. 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

#### 1 情報発信機能・電子図書館機能の充実、多文化サービスの拡充、広報拡充

	進捗把握指標	成果指標	目標値	評価
図書館ホームページの内容豊富化	各種ページの内容豊富化	ホームページアクセス件数	24-28年度比較	◎
情報発信機能の充実	横断検索・ディスカバリーサービス開始 レファレンス事例のデータベース公開件数	横断検索・OMLINサーチアクセス件数	サービス実施 25-28年度比較	○
電子図書館機能の充実	・音楽配信サービス、国立国会図書館デジタル化送信・歴史的音源サービスの開始 ・デジタルアーカイブ画像のオープンデータ化	商用データベース、電子書籍、デジタルアーカイブ、音楽配信サービス、国立国会図書館デジタル化送信・歴史的音源サービス等の利用アクセス件数	サービス実施 25-28年度比較	◎
図書館資料の充実	寄贈図書・参考図書・地域資料の受入冊数	貸出冊数	24-28年度比較	○
多文化サービスの拡充	やさしいにほんごのページ開設、多言語検索の操作性向上(ユニコード採用)	やさしいにほんごのページ・外国語のページアクセス件数	サービス実施 25-28年度比較	○
広報拡充	メールマガジン・ツイッター・Facebook開始	来館者数、ホームページアクセス件数	24-28年度比較	○

### 2. 人と、心を育てる図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、地域や市民との連携事業の企画調整

#### 2-1 地域等との連携による子どもの読書活動の推進

	進捗把握指標	成果指標	目標値	評価
子どもの読書活動の推進	読書普及事業実施回数 地域と連携した読書普及事業回数	児童書貸出冊数	24-28年度比較	○
子どもへの情報発信	子どものページ・ティーンズのページ等ホームページ開設・情報提供	アクセス件数	サービス実施 25-28年度比較	○

#### 2-2 市民ボランティアとの協働、読書環境の整備

市民ボランティアの養成拡大	養成講座開催回数	受講者数・登録ボランティア数	24-28年度比較	○
幼児期読書環境整備事業対象施設拡大	対象施設数	配本冊数 派遣ボランティア活動回数	24-28年度比較	○
市民協働による読書普及事業拡充	読書普及事業回数	参加者数	24-28年度比較	◎

### 3. 学校図書館の活性化支援

学校図書館活用推進事業の実施  
図書への団体貸出等学校への支援・協力

3-1 学校図書館活用推進事業の推進				
	進捗把握指標	成果指標	目標値	評価
学校図書館の環境整備支援	各区に補助員コーディネーター配置 小中学校に補助員配置	学校図書館の週当たり開館回数(実績目標)	実施	○
学校図書館支援ボランティアへの支援	学校図書館活性化事業各種ボランティア講座開催 学校図書館活性化実践交流会の開催	学校支援のページアクセス件数	24-28年度比較	○
3-2 学校との連携による子どもの読書活動の推進(資料・情報提供、活用支援)				
団体貸出や調べ学習支援、学校図書館活性化支援と各種連携メニューの豊富化	調べ学習支援用図書受入冊数 団体貸出の送便活用開始	学校への団体貸出冊数、 各種学校連携統計	24-28年度比較	◎

### 4. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進  
関係機関との連携協力の推進

4-1 効率的で効果的な図書館の管理運営の推進				
	進捗把握指標	成果指標	目標値	評価
●新たな財源の確保				
・新たな財源確保や運営費の節減を図るための図書館施設や広報物を利用したの広告事業への取り組み ・ふるさと寄附金の募集広報の強化・拡充	ホームページバナー枠の拡大 ふるさと寄附金専用チラシ配付 カレンダー募集開始 ネーミングライツ募集開始 会議室貸出の検討 地図モニター広告募集	歳入額	24-28年度比較	△
●利用環境の改善				
・より快適に図書館を利用していただけるよう、施設整備や案内表示の見直し ・システムの操作性向上・検索機能向上	Wifi環境の拡充 飲み物緩和 トイレ改修 蔵書検索の多言語一元化対応	来館者数・図書館ホームページアクセス数	24-28年度比較	○
4-2 関係機関との連携協力の推進				
	進捗把握指標	成果指標	目標値	評価
・国立国会図書館や府立図書館等他機関との連携強化	新たな連携実施	連携機関・事業数	24-28年度比較	○

### Ⅲ. 各指標項目の実績値と評価・分析

## 1. 知識を創造する図書館へ

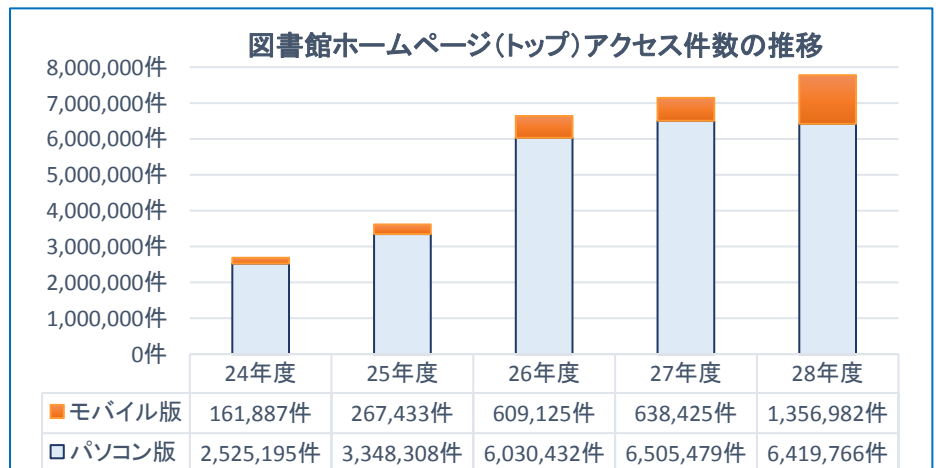
図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

評価	進捗	平成26年1月の図書館情報ネットワークシステムの更新に伴い、他機関データベース(以下DB)や商用DB、電子書籍、デジタルアーカイブ等のコンテンツも検索対象に加えた横断・統合検索機能を提供、また、音楽配信などのサービスも開始し、電子図書館機能を拡充する。 メールマガジンやツイッター、Facebook等のSNSサービスでの情報発信の開始で広報拡充に努める。平成29年3月にはデジタルアーカイブの一部画像のオープンデータ化を開始。 蔵書の充実については、厳しい財政状況により、全般に新規受入冊数は年々減少傾向が続いているが、タイトル数確保に努めている状況である。	◎
	成果	電子図書館機能については、広報周知や活用講座等の開催により、概ね利用は増加傾向にある。しかし、商用DBについては、平成27年度より減少傾向に転じている。一方、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス等の他機関連携の新規サービスの利用は増加傾向が続いている。 平成26年1月のシステム更新をきっかけに図書館ホームページのアクセス件数は飛躍的に伸びたが、来館者数は微減傾向が続く。インターネット経由の非来館型サービスの充実により、来館回数は減っても多様な媒体を活用し図書館情報にアクセスできることによって、予約や貸出利用については概ね維持している状況にある。 多文化サービスについては、関連機関との連携による資料提供は拡大・継続している。	○

#### ■ 図書館ホームページ アクセス件数の推移

・図書館ホームページのアクセス数は、平成26年1月のシステム更新における提供内容の豊富化やトップページから蔵書検索が出来るようにしたこと等により、飛躍的に増加した。

・27～28年度にかけては、特に、モバイル版(スマートフォン・携帯電話)のホームページのアクセス件数が2倍強になるなど著しい伸びを示している。

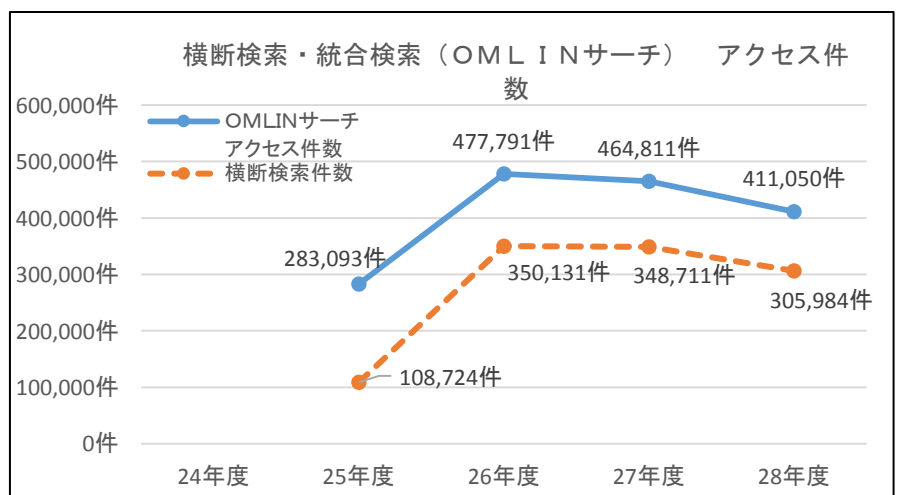


#### ■ 横断検索・統合検索 サービス開始・アクセス件数

・平成26年1月のシステム更新により、ホームページや館内の利用者用検索端末において、大阪市立大学学術情報総合センター、Webcat Plus、CiNii Booksなど他機関の所蔵資料を一度にまとめて検索する「横断検索」メニューを提供している。(26年5月には、府立図書館も横断検索対象に追加)

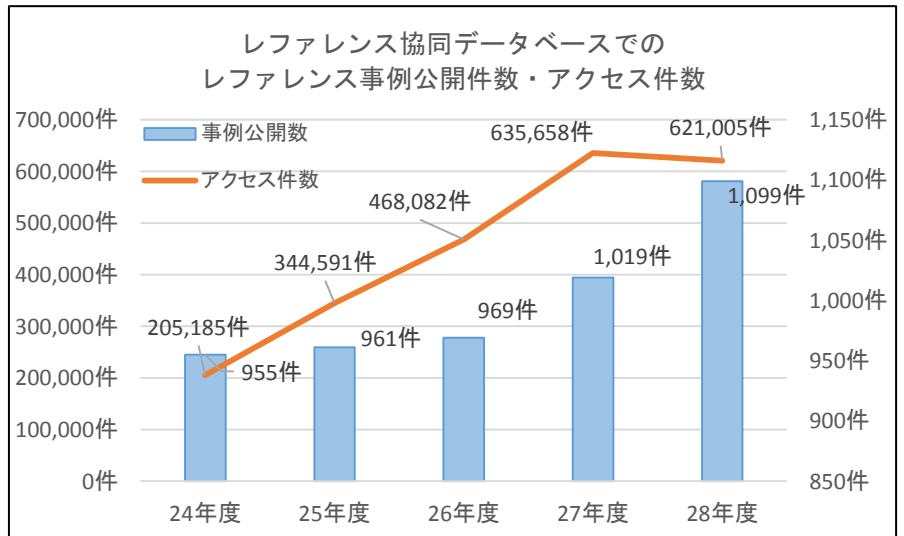
・また、インターネット上の有用な情報や大阪市立図書館で利用できる電子書籍、商用データベース(館内の利用者用検索端末のみ)、古文書等の画像なども含めて、複数のサイトを選んで一度にまとめて検索する統合検索メニュー「OMLINサーチ」を提供している。

・いずれの検索メニューも26年度をピークにアクセス件数は減少傾向にある。



## ■ レファレンス事例公開件数・アクセス件数

・国立国会図書館が運営している、全国の図書館に寄せられた質問と回答を集めた「レファレンス協同データベース」を活用し、本市図書館のレファレンス事例の公開を進めており、その蓄積により、この5年間で年間利用アクセス件数は、3倍に増加した。

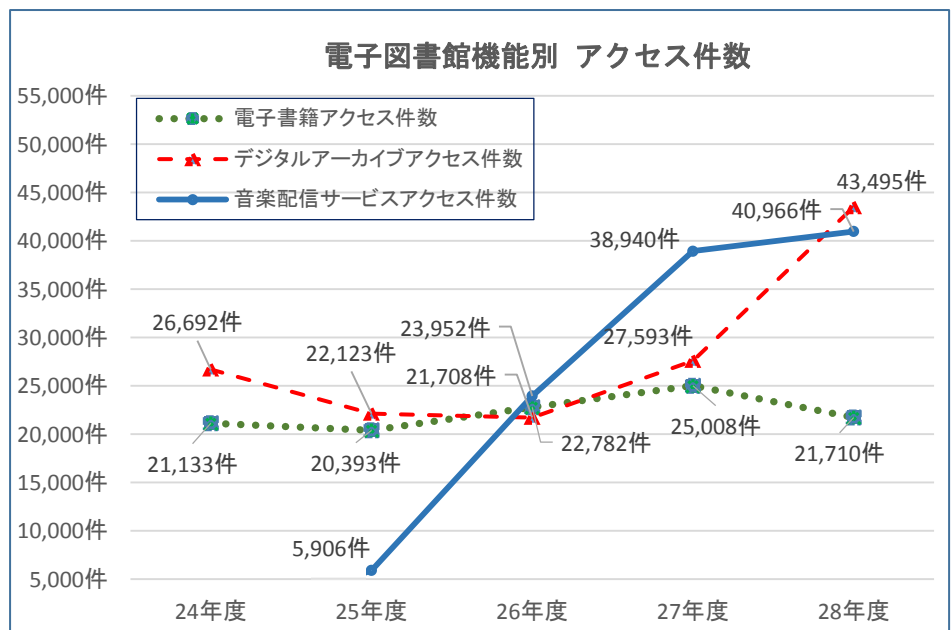


## ■ 電子書籍・デジタルアーカイブ・音楽配信サービス アクセス件数

・電子書籍や音楽配信サービス(図書館カード番号・パスワード必要)、デジタルアーカイブ等は自宅からでも利用できる非来館型サービスである。

・これら電子図書館機能の利用については、全般に増加傾向にあるが、電子書籍サービスのみ、横ばい状況が続いている。

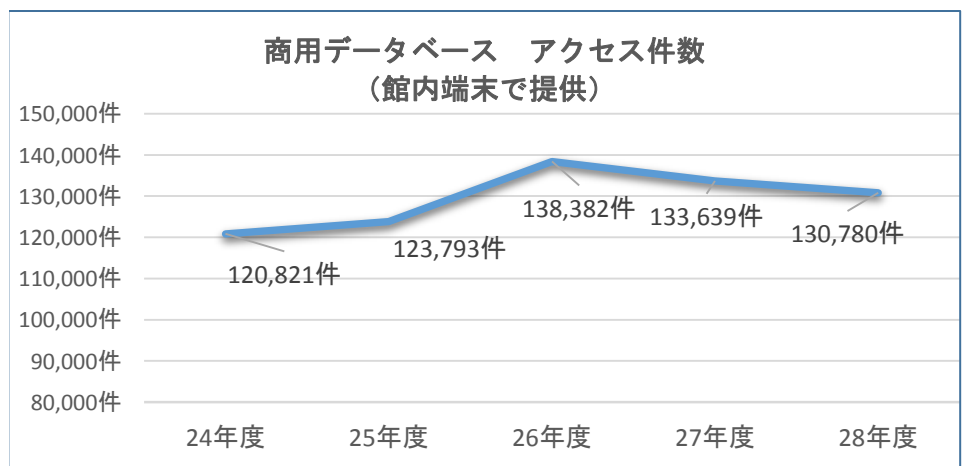
・今後の電子図書館機能の利用促進においては、モバイル(スマートフォン)での利便性向上が大きな要因になると考えられる。



## ■ 商用データベース アクセス件数

・館内の利用者端末で提供している商用データベース(以下、DB)は、DBを指定しての単独検索だけでなく、OMLINサーチの統合検索対象に設定したこと等により、一旦はアクセス件数の増加が見られたが、26年度をピークに減少傾向にある。

・商用DB活用講座等一層の広報の必要性が求められる一方で、厳しい財政状況のなか、提供方法を再検討する必要がある。

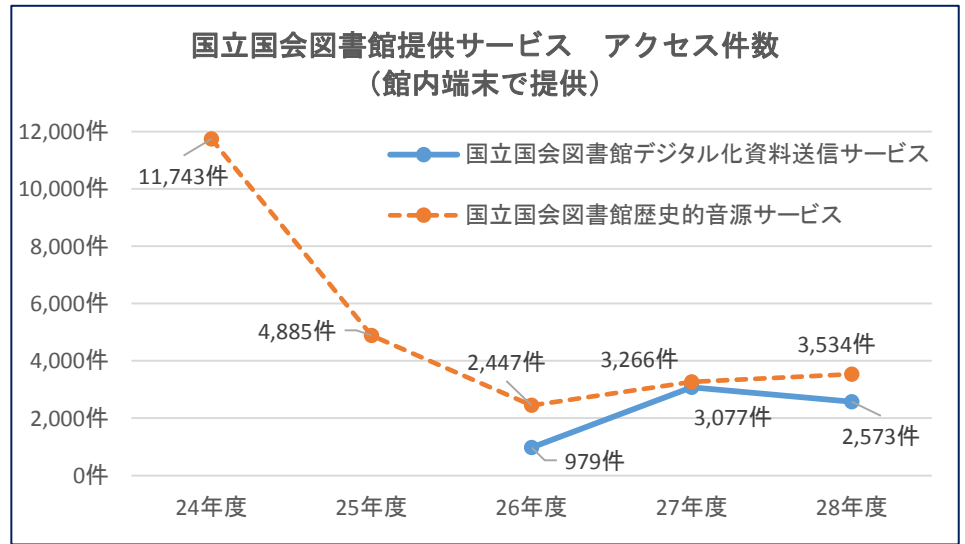




## ■ 国立国会図書館デジタル化資料送信・歴史的音源サービス アクセス件数

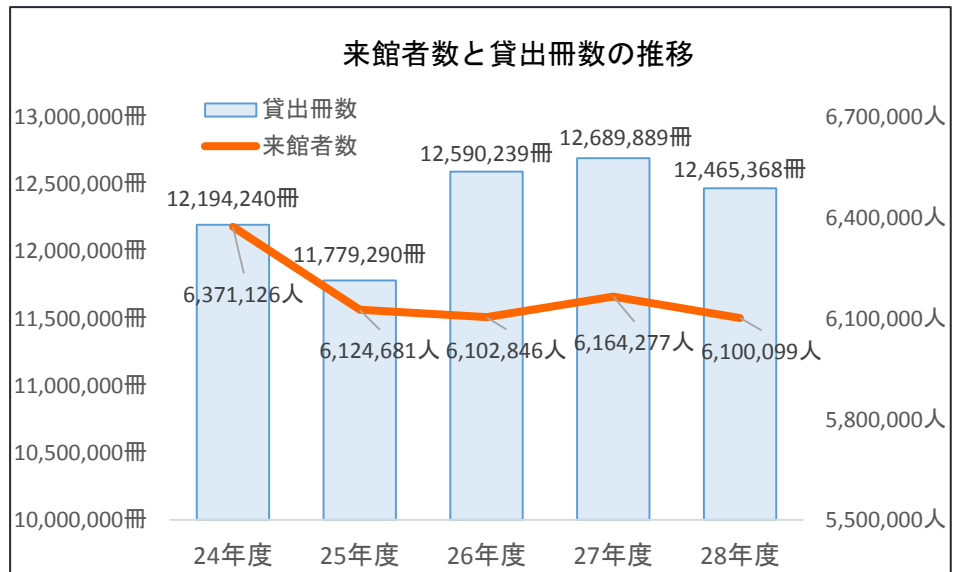
実績値

・商用データベースと同様に館内の利用者端末で提供している国立国会図書館の2種のサービスについては、当初、歴史的音源サービスが全国の公共図書館でも突出した高い利用実績があったが、ここ数年は横ばい状況にある。  
 ・26年度から提供を開始したデジタル化資料送信サービスは、27年度をピークに概ね横ばい状況にある。



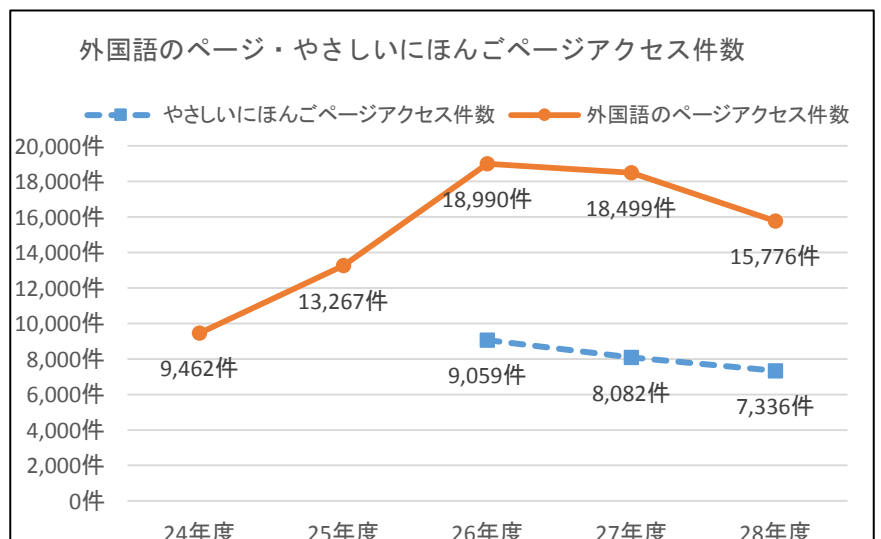
## ■ 来館者数と貸出冊数の推移

・平成26年1月からのシステム更新に伴う、個人情報のオンライン化により、市立全館24館で1人1枚の図書館カードとし、貸出冊数上限を8冊より15冊までと増加させた。平成26～27年度の貸出冊数増は、貸出上限冊数増の影響が大きいと思われる。しかし28年度より微減に転じている。  
 ・来館者数は25年度より既に横ばい状況にある。  
 ・事業の豊富化やメールマガジンやツイッター、facebookなどSNSを活用した多様な広報展開を図るも明確な効果はまだ現れていない状況にある。



## ■ 外国語のページ・やさしいにほんごページ アクセス件数

・外国語のページアクセス件数は英語・ハングル・中国語のページのアクセス件数を足し上げたもので、26年1月のシステム更新に伴うリニューアル後、大幅に増加、その後は微減傾向にある。  
 ・「やさしいにほんごページ」では、長い文章を読むのが難しい人や、こども、外国人などを対象に情報発信や蔵書検索メニューを提供している。26年1月に開設し、26年度をピークにアクセス利用は微減傾向にある。



## 2. 人と、心を育てる図書館へ

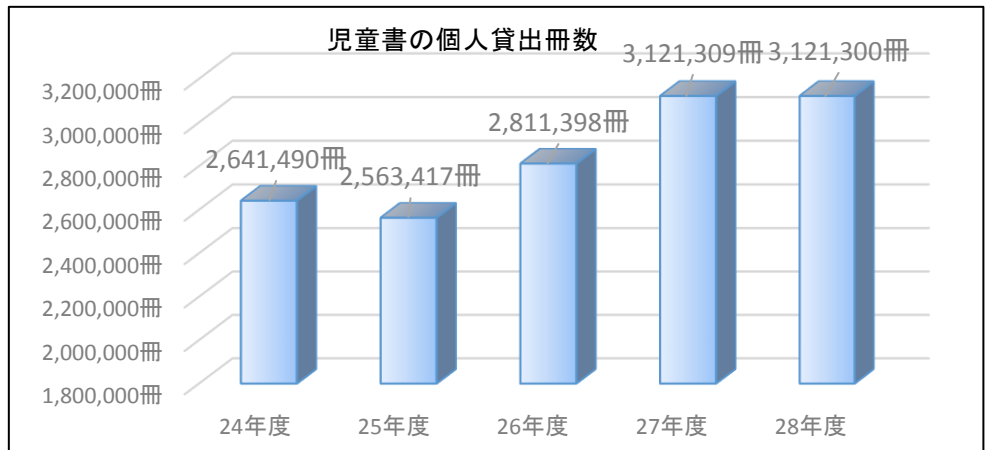
図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、地域や市民との連携事業の企画調整

評価	進捗	<p>平成24年度策定の「第2次子ども読書活動推進計画」に則り、学校、子育て支援施設等と連携し子どもの読書推進施策を進めるとともに、ボランティア養成講座やステップアップ講座の開催等、継続した読書活動支援ボランティアへの支援など、地域と連携した読書推進に取り組んできた。</p> <p>図書館ホームページでは子ども向け情報発信ページを新設し、内容の豊富化に努めた。来館を促すための図書館ポイントイベントを全館で開始し、OneBookOneOSAKAの取り組みについては実行委員会を発足し、民間からの協賛を得て継続している。ティーンズ世代へのアプローチのために書評漫オグラプリの開催やティーンズ向きページの新設等にも取り組んだ。</p>	◎
	成果	<p>児童書の個人貸出や学校への団体貸出冊数は大幅に増加し、図書館や子育て施設等での読書推進に関わる事業も増加傾向にある。さらに区役所との新たな連携も開始している。</p> <p>しかし、ティーンズ世代の図書館利用の減少傾向は続き、この世代に対する様々な取り組みの効果は、まだ現れていない状況にある。</p>	○

実績値

### ■ 児童書の個人貸出冊数

・この5年間で、児童書の個人貸出冊数は18%増と大幅に増加している。

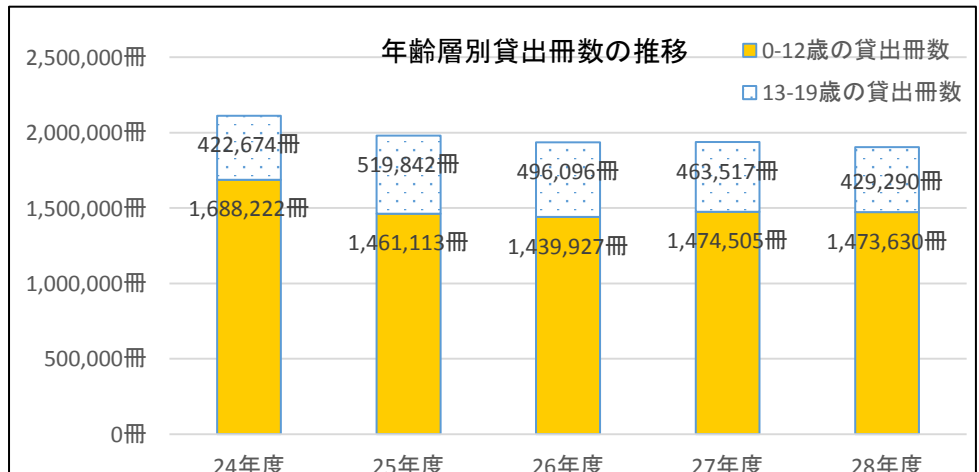


### ■ 0-12歳、13-19歳の年齢層別貸出冊数

・児童書の貸出冊数が大幅に増加している一方で、0-12歳の児童の個人貸出冊数は、この5年間で、12.7%減少している。

・児童登録者数が減少傾向にあることを踏まえると、子育て世代が子どものために児童書を借りる傾向が強くなっていると言える。

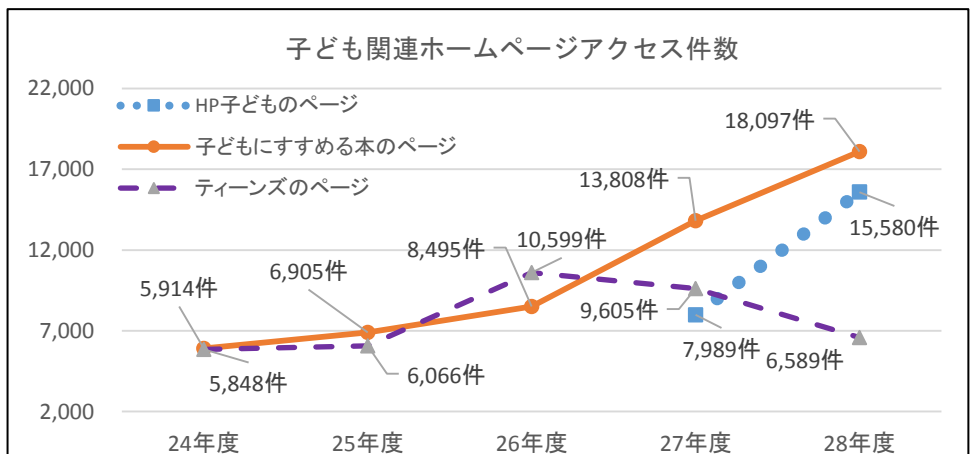
・13-19歳の貸出冊数は多少の増減はあるものの横ばい状況が続いている。



### ■ 子ども関連ホームページのアクセス件数

・子どもにすすめる本のページは、内容の豊富化によりアクセス件数は3倍に増加、平成27年度に開設した子どものページのアクセス件数も1年間で倍増している。

・一方、ティーンズのページのアクセス件数については、26年度のホームページリニューアル後には1万件を超えたものの、以降減少に転じ、28年度は24年度比微増に留まっている。ホームページでのコンテンツ更新よりもツイッターでの情報発信に力を入れたことが減少要因の一つと考えられる。

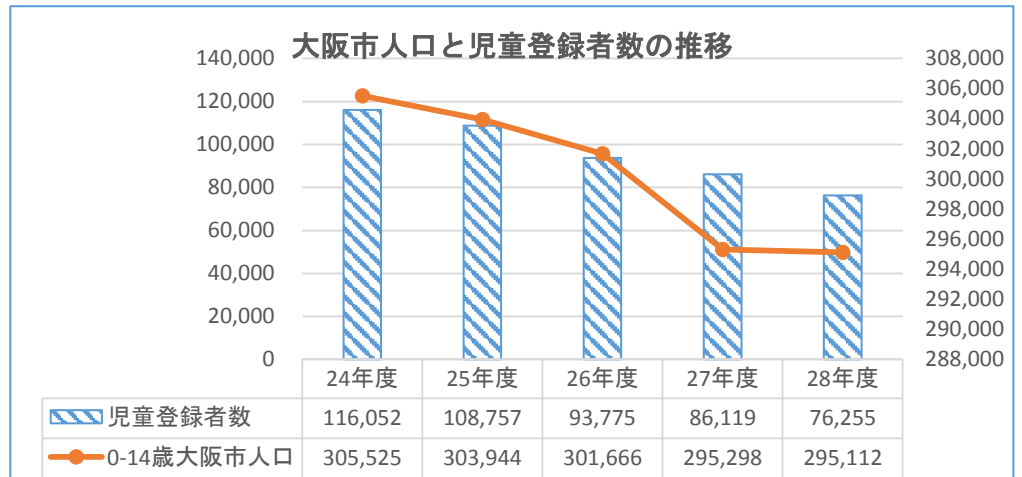


## ■ 大阪市人口と児童登録者数の推移

・この5年間で、児童登録者数は34.3%減となっている。

・平成26年1月から実施した図書館カード1人1枚の統合化の影響が大きな減少要因になっていると考えられる。

・大阪市の0-14歳人口が、3.4%と微減であることを考慮すると、大阪市の児童の公共図書館利用は減少傾向にあると言える。

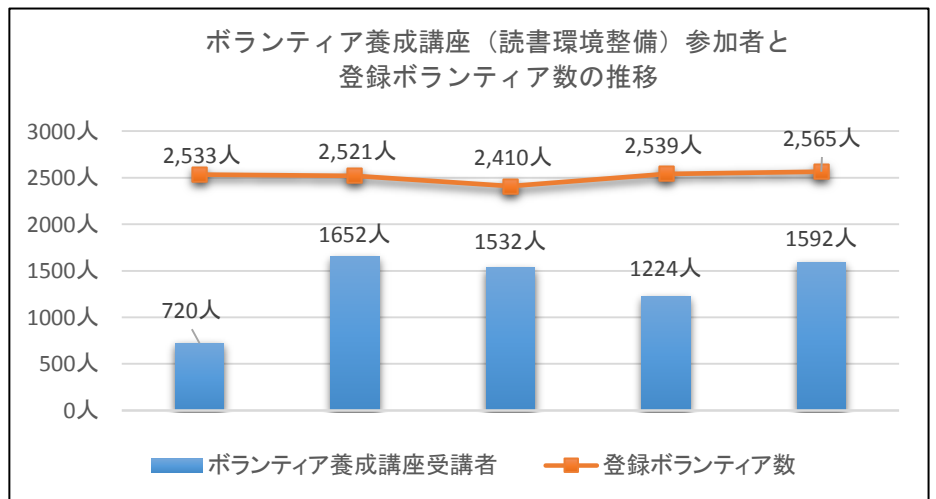


※「大阪市の推計人口年報（29年）」より

## ■ ボランティア養成講座参加者と登録ボランティア数の推移

・各区の子どもの読書活動推進に向け、図書館を拠点として活動する読書活動支援ボランティアは、毎年2500名前後の方が登録・更新をされ、活動されている。

・ボランティア養成講座だけでなく、ステップアップ講座や情報交換会の開催、日常的な交流等により、継続的な活動支援を実施している。



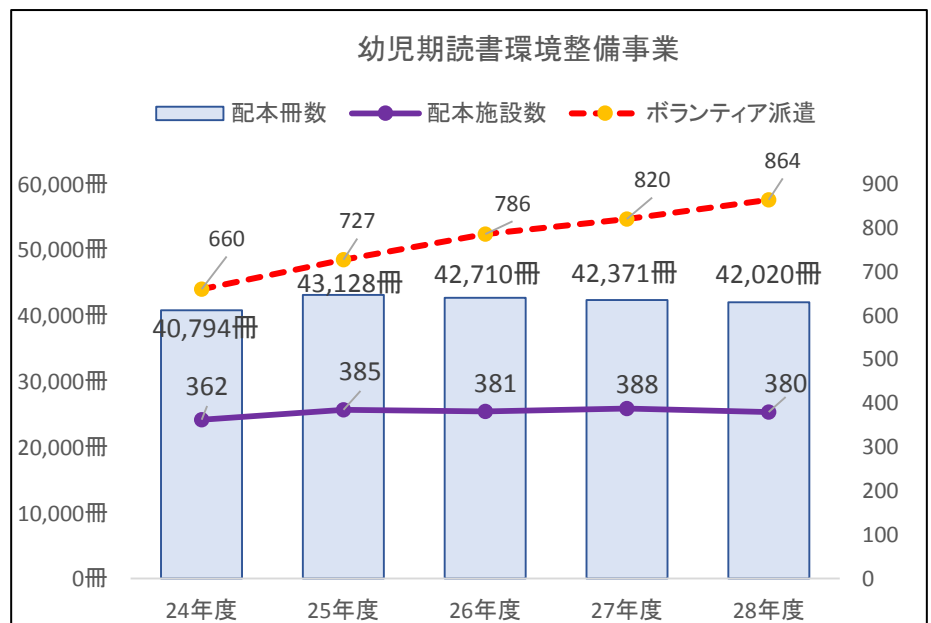
実績値

## ■ 幼児期読書環境整備事業

・平成12年度に4区で開始し、17年度より全区で実施している「幼児期読書環境整備事業」では、保育園や幼稚園等への施設に対して、図書館からの送便により絵本セット等を届け、読書活動支援ボランティアを派遣する等読書推進の取組を継続している。

・開始より17年経過の当該事業については、対象施設数や貸出冊数は横ばい状況が続き、新たな事業展開の検討が求められる。

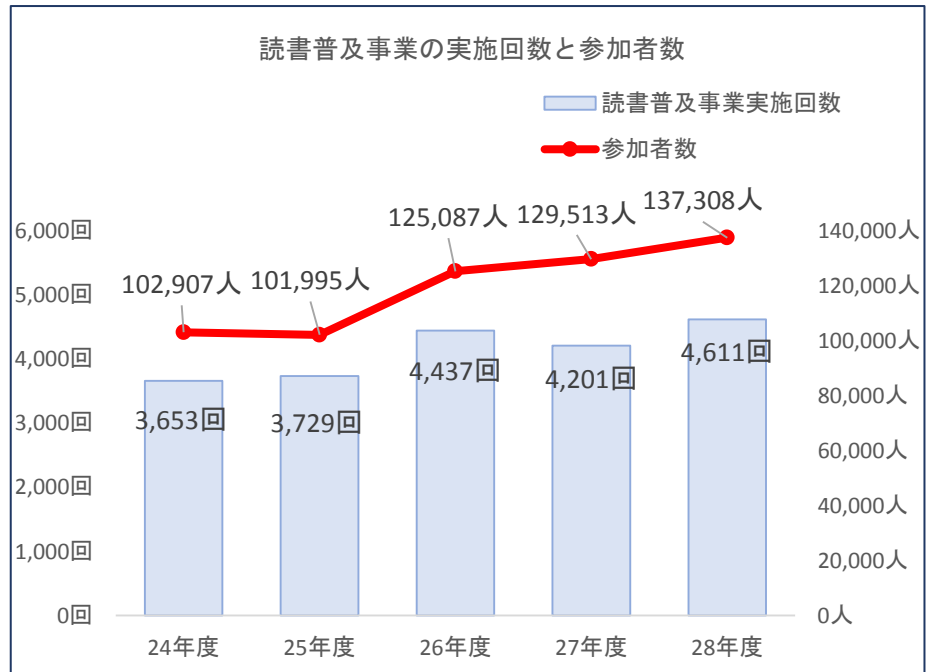
・ボランティア派遣による読み聞かせ等の行事開催回数は、この5年間で、31%増と大幅に増えており、保育園・幼稚園との連携も進んでいる。





## ■ 読書普及事業数と参加者数

・他施設等と連携した絵本の読み聞かせや人形劇といったおたのしみ会の開催や絵本展などの子ども向け読書普及事業や、講演会、読書会、ボランティア講座・交流会などの大人向けの読書普及事業は、この5年間で26%増と大幅に開催数を増やしており、参加者数についても33%増となっている。



### 3. 学校図書館の活性化支援

学校図書館活用推進事業の実施  
 図書の団体貸出等学校への支援・協力

評価	<p><b>進捗</b></p> <p>平成25年3月策定の「第2次子ども読書活動推進計画」に沿って、一斉読書や調べものための図書の団体貸出については、さらなる利用促進に努め、学校送便活用の団体貸出の対象を小学校だけでなく、28年9月より中学校にも拡大した。</p> <p>小学校における「学校図書館活性化事業」に対しては、指導部と連携しボランティア講座や実践交流会の開催など継続した支援を実施している。</p> <p>27年度より開始の「学校図書館活用推進事業」では、図書館が事務局機能を担い、市立全小中学校を対象として、学校図書館の開館や環境整備を行う学校図書館補助員とその業務を支援するコーディネーターを配置し、事業推進に努めた。</p> <p>その他、26年度より教職員の校務支援パソコンから商用データベースを検索できる仕組みを構築し、講座開催等で周知する等利用促進に努めている。</p>	○
	<p><b>成果</b></p> <p>学校への団体貸出利用は学校送便活用の効果もあって増加の一途をたどっている。学校図書館活用推進事業においては、学校図書館の開館回数も順調に増え、週当たり開館回数の7回以上という目標を達成した。各区役所との連携を深め、各学校の状況に寄り添いながら、29年度は全校全授業日開館を目標にしている。</p>	◎

実績値	<p><b>■ 学校図書館の開館回数</b></p> <p>・平成27年度より開始した学校図書館活用推進事業における初年度の目標は、全校平均週当たり7回以上の開館であったが、小学校6.5回、中学校6.1回の結果となる。学校の課題に寄り添った対応策を継続した。</p> <p>・翌28年度、全校で週7回開館の目標を掲げ、小学校79.7%、中学校75.8%が達成した。</p>	<p>学校図書館の週当たりの開館回数</p> <table border="1"> <caption>学校図書館の週当たりの開館回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学校平均</th> <th>中学校平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>4.5回</td> <td>5.5回</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>6.5回</td> <td>6.1回</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>7.6回</td> <td>7.2回</td> </tr> </tbody> </table>	年度	小学校平均	中学校平均	26年度	4.5回	5.5回	27年度	6.5回	6.1回	28年度	7.6回	7.2回
	年度	小学校平均	中学校平均											
26年度	4.5回	5.5回												
27年度	6.5回	6.1回												
28年度	7.6回	7.2回												
<p><b>■ 学校支援のページの利用状況</b></p> <p>・図書館ホームページの学校支援のページへのアクセスは、26年1月のホームページのリニューアルにより、飛躍的に伸びた。</p> <p>・しかし、27年には、学校図書館活用推進事業のページが新設されたことにより、アクセスの分散が生じ、微減微増となっている。</p>	<p>学校支援のページ アクセス件数</p> <table border="1"> <caption>学校支援のページ アクセス件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>アクセス件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年度</td> <td>2,562件</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>3,605件</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>6,922件</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>6,340件</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>7,131件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	アクセス件数	24年度	2,562件	25年度	3,605件	26年度	6,922件	27年度	6,340件	28年度	7,131件	
年度	アクセス件数													
24年度	2,562件													
25年度	3,605件													
26年度	6,922件													
27年度	6,340件													
28年度	7,131件													

## ■ 学校連携

・平成20年度より指導部が実施した学校図書館活性化事業により、学校図書館ボランティアの養成・支援が始まり、市立図書館において講座開催や実践交流会開催等の支援を行った。様々な教育活動の場での学校図書館活用が拡充した。

・27年度より開始した学校図書館活用推進事業による学校図書館補助員および同コーディネーターの配置により学校連携の取組が大きく進んだ。

・小・中学校の学校図書館や学級文庫等への団体貸出冊数については、71%増と大幅に伸びている。

・市立図書館の蔵書について、学校送便便を活用して各学校へ届けるという物流の確保が、団体貸出冊数増の大きな要因の一つである。



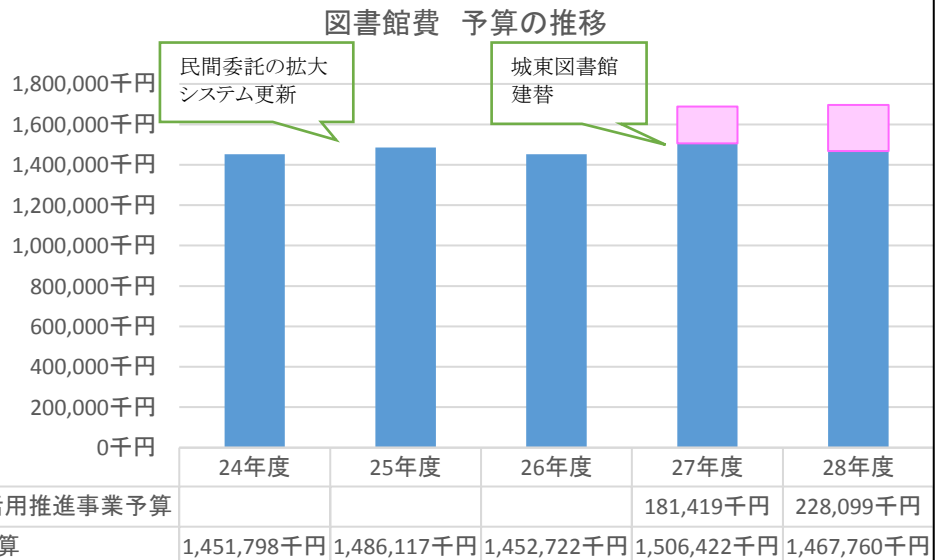
# 4. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進  
関係機関との連携協力の推進

評価	<p><b>進捗</b></p> <p>平成24年度、大阪にふさわしい大都市制度のあり方の検討において、類似・重複している行政サービスとして、府立中央と市立中央図書館の基本的な方向性を検討した。その検討のなかで、市場化テストにより民間委託化を図った府立図書館の対象業務と、市立図書館における窓口等定型業務等の委託業務を比較・検証し、新たに平成25年度より、図書受入や事業受付業務についても民間委託を拡大した。</p> <p>厳しい市財政状況を受け、ネーミングライツや車体広告等新たな広告事業を開始したが、実現に至らなかった。図書館ホームページバナー枠の拡大とふるさと寄附金の児童図書支援専用チラシ・ポスター、館内広告等の効果で、歳入は微増傾向にある。</p> <p>利用環境整備としては、中央図書館のトイレの一部洋式化に取り組んだほか、28年度には、全館について飲み物の持ち込みを緩和し、より快適な居場所づくりに取り組んだ。</p> <p>他機関連携の拡大については、新たにプロスポーツ団体やまちライブラリー等法人団体との連携を拡大した。</p>	○
	<p><b>成果</b></p> <p>図書館の歳出予算は、平成25年度の業務委託化拡大やシステム更新、27年度の城東図書館建替開館、28年度の火災報知設備改修工事等に伴い物件費は増えたが、その他経常経費は削減傾向が続いている。図書館の事業も関連機関との連携により効率的に人を集め広報展開を行うことで、開催事業数は増加傾向にある。</p>	△

## ■ 図書館歳出予算の推移

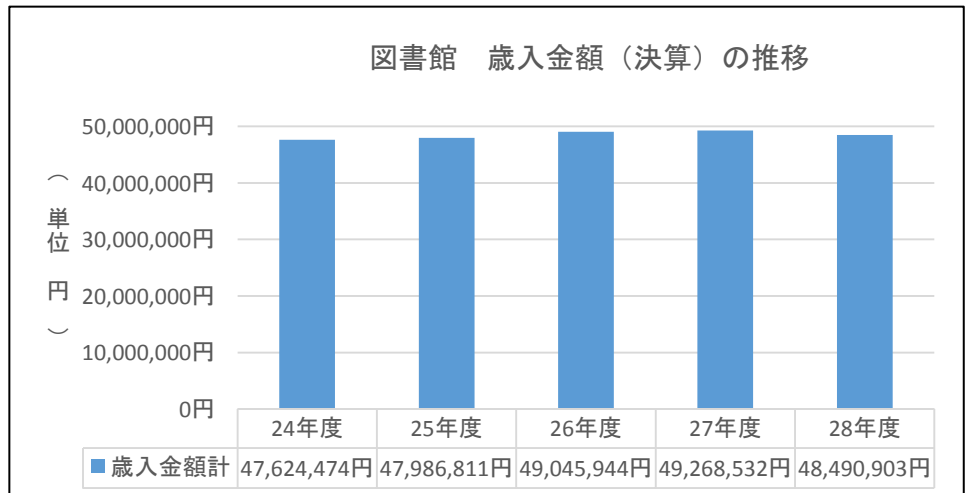
・図書館の歳出予算は、平成25年度の業務委託拡大やシステム更新、27年度の城東図書館建替開館、28年度の火災報知設備改修工事等に伴い、物件費は増加している年度もあるが、その他経常経費は削減傾向が続いている。



## ■ 歳入金額(決算)の推移

・歳入額について、24年度と28年度を比較すると、1.8%増とわずかに増加しているが、概ね横ばい状況が続いている。

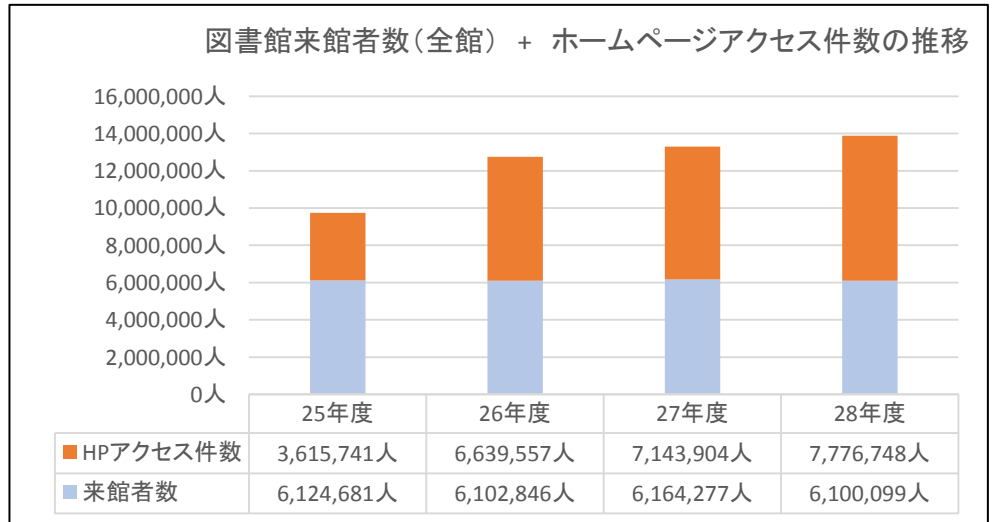
・ホームページバナー枠の拡大やネーミングライツ等歳入方策を実施するも大幅な歳入増には至っていない。



## ■図書館来館者数 + ホームページアクセス(トップページ)件数の推移

・大阪市立全館の来館者数は微減傾向が続くが、25年度のシステム更新後の図書館ホームページのアクセス件数大幅増により、「成果目標」としていた来館者数とホームページアクセス件数の合計数の前年度増については達成している。

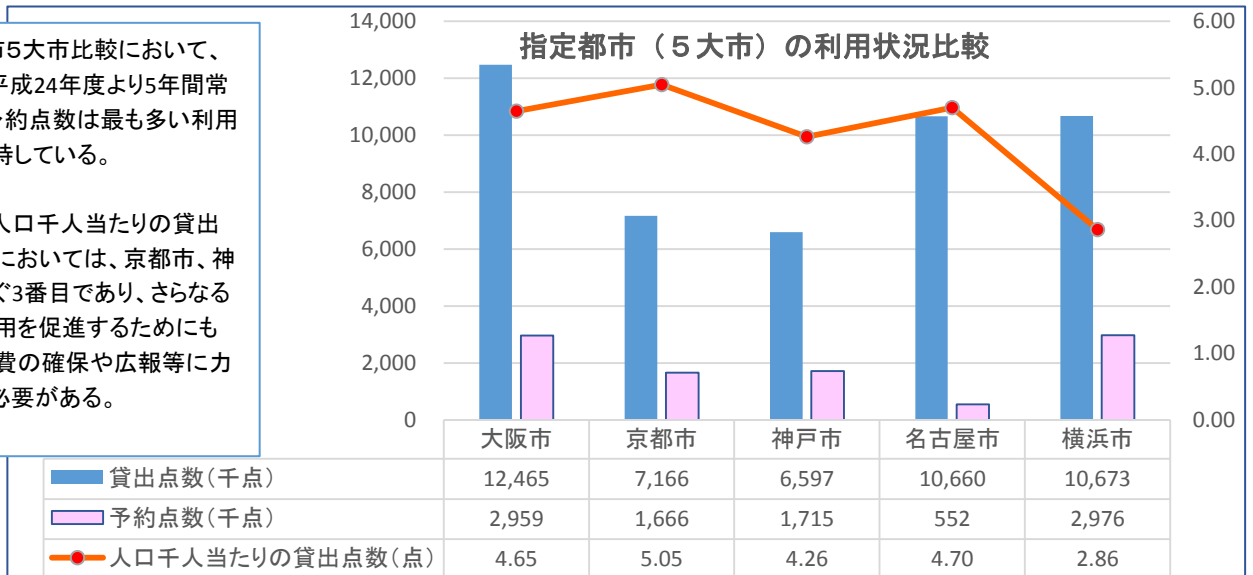
※地域館全館の来館者数統計については、平成25年度より集計開始



## <参考> 指定都市(5大都市)の利用統計比較(平成28年度)

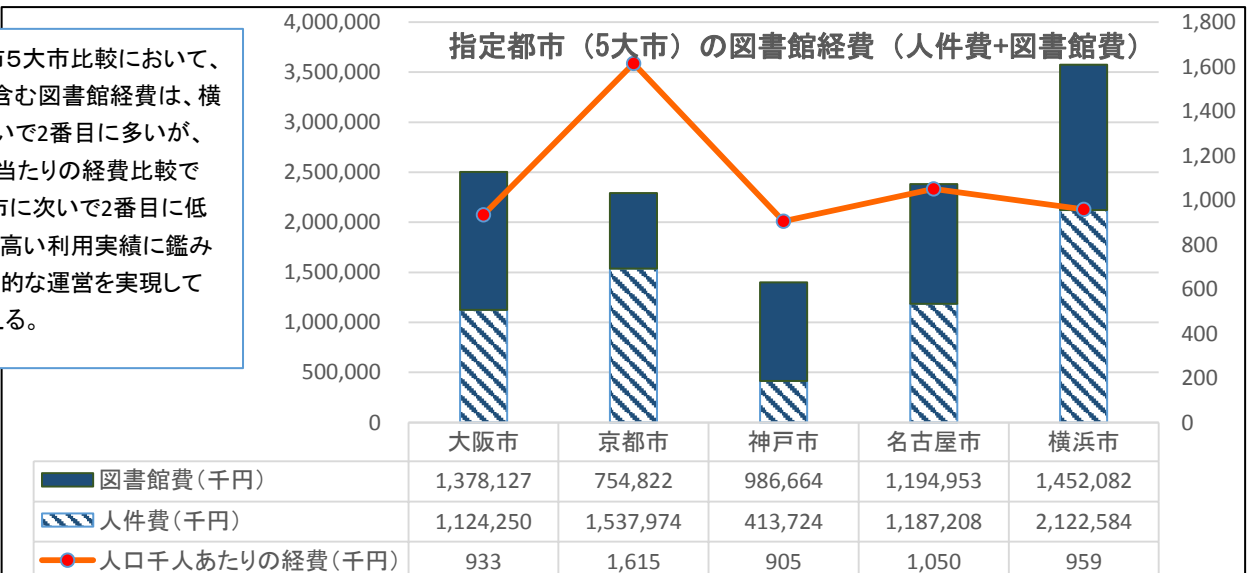
・指定都市5大都市比較において、本市は、平成24年度より5年間常に貸出・予約点数は最も多い利用実績を維持している。

・ただし、人口千人当たりの貸出点数比較においては、京都市、神戸市に次ぐ3番目であり、さらなる図書館利用を促進するためにも図書資料費の確保や広報等に力を入れる必要がある。



## <参考> 指定都市(5大都市)の人件費+図書館費予算比較(平成28年度)

・指定都市5大都市比較において、人件費を含む図書館経費は、横浜市に次いで2番目に多いが、人口千人当たりの経費比較では、神戸市に次いで2番目に低く、上述の高い利用実績に鑑みると、効率的な運営を実現していると言える。





IV. 資料編

1. 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

評価指標名		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
実績値	情報発信機能の充実	進捗把握指標						
		横断検索サービス提供	—	H26年1月～提供開始	検索対象に2機関追加(市立大学・府立図書館)			
		・ディスカバリーサービス(OMLINサーチ)提供		H26年1月～開始	商用DB3種追加			
		OMLIS使い方講座開催	4回	4回	4回	7回	17回	
		レファレンス事例公開数	955件	961件	969件	1,019件	1,099件	
		ビジネス支援情報講座開催数	10回	9回	9回	8回	9回	
		「思い出のこし」事業	—	1館	2館	3館	全24館	
		インターネット利用環境整備	多機能OMLISで有用サイトのみ提供	中央3F:専用端末配置 自動車文庫車にタブレット設置	無料Wifi 中央他4館整備	無料Wifi 中央他4館整備	無料Wifi 全館整備	
		庁内職員向け講座 開催数	2回	1回	2回	2回	2回	
		課題解決支援	成果指標	調査相談件数	741,498件	753,849件	749,786件	756,391件
うちレファレンス件数	245,799件			264,310件	263,604件	291,468件	269,132件	
横断検索件数	—			26年1月開始(108,724件)	350,131件	348,711件	305,984件	
OMLINサーチアクセス件数(ディスカバリーサービス)	—			26年1月開始(283,093件)	477,791件	464,811件	411,050件	
レファレンス事例アクセス件数(レファレンス協同DB)	205,185件			344,591件	468,082件	635,658件	621,005件	
インターネット・OPAC予約件数	2,195,296件			2,122,241件	2,328,209件	2,425,589件	2,396,966件	
メールレファレンス受付件数	66件			156件	188件	178件	200件	
ビジネス支援情報講座参加者数	807人			597人	580人	417人	380人	
庁内職員向け講座参加者数	67人			41人	59人	53人	46人	
おおさか資料室アクセス件数	3,792件			5,190件	8,201件	7,664件	13,613件	
電子図書館機能の充実	進捗把握指標	デジタルアーカイブ(以下、DA)追加点数	—	浄瑠璃1,440点追加	『播磨相原』等288点追加	—	171点追加 年度末総点数28,745点	
		DAのオープンデータ化	—	—	—	—	H29.3～開始 6,967点	
		OPACとDA・電子書籍連携	—	1月開始				
		音楽配信サービス実施(インターネットと館内端末)	—	インターネット・中央館1月提供開始		地域館4月提供開始		
		国立国会図書館デジタル化資料送信サービス実施	—	—	11月開始			
		国立国会図書館歴史的音源サービス	全館提供開始					
		商用データベース アクセス件数	120,821件	123,793件	138,382件	133,639件	130,780件	
		電子書籍アクセス件数	21,133件	20,393件	22,782件	25,008件	21,710件	

実	成果指標	デジタルアーカイブアクセス件数	26,692件	22,123件	21,708件	27,593件	43,495件	24・25年度の名称は、旧イメージ情報データベース	
		音楽配信サービスアクセス件数	—	5,906件	23,952件	38,940件	40,966件		
		国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	—	—	979件	3,077件	2,573件		
		国立国会図書館歴史的音源サービス	11,743件	4,885件	2,447件	3,266件	3,534件		
図書館資料の充実	進捗把握指標	寄贈図書受入冊数	47,653冊	41,439冊	44,953冊	42,647冊	43,025冊		
		参考図書受入冊数	2,160冊 (購入冊数)	1,620冊 (購入冊数)	2,395冊	2,510冊	2,343冊		
		地域資料受入冊数	181,133冊 (所蔵冊数)	192,543冊 (所蔵冊数)	7,565冊	6,856冊	7,084冊		
		学校支援(調べ学習図書整備)受入冊数	448セット (所蔵セット数)	503セット (所蔵セット数)	559セット (所蔵セット数)	2,375冊	1,985冊		
	成果指標	貸出冊数	12,194,240冊	11,779,290冊	12,590,239冊	12,689,889冊	12,465,368冊		
多文化サービスの展開	進捗把握指標	多文化事業企画(講座・おはなし会・展示等)	10回	11回	13回	16回	27回		
		やさしいにほんごページ開設		26年1月開設					
		国際交流連携による資料提供	ハンブルク図書交換						
	成果指標	多文化・国際交流事業参加者数(うち外国語絵本のひろば参加者数)	417人	1,657人	1,528人 (1,408人)	1,852人 (1,756人)	1,348人 (1,077人)		
		やさしいにほんごページアクセス件数	—	—	9,059件	8,082件	7,336件		
		外国語のページアクセス件数	9,462件	13,267件	18,990件	18,499件	15,776件		
市民への広報拡充	進捗把握指標	ツイッターでの情報提供	10月開始						
		新着お知らせメール送信	—	26年1月開設					
		メールマガジンでの情報提供	—	26年1月開設					
		Facebookでの情報提供	—	—	—	—	28年10月開設		
		自動車文庫広報拡充	区内広報拡充	お知らせメール送信開始					
	成果指標	来館者数	6,371,126人	6,124,681人	6,102,846人	6,164,277人	6,100,099人		
		図書館ホームページ(トップ)アクセス件数	2,687,082件	3,615,741件	6,639,557件	7,143,904件	7,776,748件		
		地域図書館ホームページアクセス件数	546,128件	386,300件	751,602件	805,361件	748,861件		
		新着お知らせメール登録利用者	—	—	3,911人	5,330人	6,536人		
		メールマガジン登録者	—	—	381人	592人	699人		
ツイッター情報発信回数	299件	707件	797件	1,060件	1,102件				
自動車文庫貸出冊数	333,441冊	317,641冊	333,227冊	335,636冊	321,930冊				

## 2. 人と、心を育てる図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、地域や市民との連携事業の企画調整

評価指標名		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考		
実績値	子ども読書活動の推進	進捗把握指標	第2次子ども読書活動推進計画	3月策定	リーフレット配付	啓発リーフレット配付		30年3月第3次計画策定	
			大阪市子ども読書活動推進連絡会の開催	10月12日	—	7月7日	7月13日	7月12日	
			HP子どものページでの情報提供	—	—	開設準備	11月開設		
			「としょかんポイント」実施	—	—	開始			
			ティーンズのページでの書評漫画グランプリ、リーディのページ(※)での情報提供	ティーンズのページで情報提供			書評漫画グランプリ、リーディのページ開設		※ヤングコーナーをPRするキャラクターのページ
	成果指標	子ども読書活動の推進	HP子どものページアクセス件数	—	—	—	7,989件	15,580件	
			子どもにすすめる本のページアクセス件数	5,914件	6,905件	8,495件	13,808件	18,097件	
			としょかんポイント参加者数	—	—	1,700人	3,259人	8,296人	
			児童書の個人貸出冊数	2,641,490冊	2,563,417冊	2,811,398冊	3,121,309冊	3,121,300冊	
			0-12歳の貸出冊数	1,688,222冊	1,461,113冊	1,439,927冊	1,474,505冊	1,473,630冊	
13-19歳の貸出冊数			422,674冊	519,842冊	496,096冊	463,517冊	429,290冊		
職場体験学習受入			108校	83校256人	89校272人	94校314人	105校332人		
ティーンズのページアクセス件数			5,848件	6,066件	10,599件	9,605件	6,589件		
書評グランプリ・リーディのページアクセス件数	—	—	—	2,819件	3,244件				
障がい児(者)サービスの利用促進	進捗把握指標	LLブック所蔵点数	82点(中央)	85点(中央)	87点(中央)	93点(中央) 557点(全館)	102点(中央) 593点(全館)		
		マルチメディアデジター所蔵点数	17点	29点	29点	38点	42点		
		講座開催	14回	19回	6回	26回	17回(全館)	24~27年度は中央のみ	
		講座参加者	618人	544人	262人	418人	1,315人(全館)	24~27年度は中央のみ	

実績値	市民協働の促進	進捗把握指標	ボランティア養成講座・交流会等の開催	入門:12回、ステップアップ3回、ブックスタート:2回(以上、中央館のみ)	入門:12回、ステップアップ4回、ブックスタート:2回(以上、中央館のみ)	352回 (4,065人) (全館合計)	310回 (3,215人) (全館合計)	340回 (3,725人) (全館合計)		
			ボランティアのページでの情報提供	—	協働ポータル開設準備	開設		グループ紹介ページ開設	専用ログインページ開設	
			読書普及事業実施回数	3,653回	3,729回	4,437回	4,201回	4,611回		
			幼児期読書環境整備事業配本施設数	362施設	385施設	381施設	388施設	380施設		
			幼児期読書環境整備事業配本冊数	40,794冊	43,128冊	42,710冊	42,371冊	42,020冊		
			幼児期読書環境整備事業ボランティア派遣	660回	727回	786回	820回	864回		
			OneBookOneOSAKA事業イベント実施	77回	11回	14回	15回	66回		
	成果指標	ボランティア養成講座受講者(読書環境整備)(延べ人数)	720人	1,652人	1,532人	1,224人	1,592人			
		登録ボランティア数	2,533人	2,521人	2,410人	2,539人	2,565人			
		ボランティアのページアクセス件数	—	—	5,479件	7,615件	6,844件			
		読書普及事業参加者数	102,907人	101,995人	125,087人	129,513人	137,308人			
		OneBookOneOSAKA事業総投票数	—	9,004票	—	12,512票	—	隔年実施		
		OneBookOneOSAKA事業イベント参加者数	6,500人	936人	327人	1,350人	799人			

## 3. 学校図書館の活性化支援

学校図書館活用推進事業の実施  
 図書の団体貸出等学校への支援・協力

評価指標名		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考		
実績値	学校図書館活性化事業・活用推進事業の推進	進捗把握指標	学校図書館補助員・コーディネーター配置	—	—	—	開始 		
			学校図書館活用推進ページの開設	—	—	—	開設 		
		学校図書館活性化事業各種ボランティア講座開催	98回	64回	90回	82回	90回		
		学校図書館活性化実践交流会実施	全区実施	全区実施	全区実施	全区実施	全区実施		
	成果指標	学校図書館の週当たりの開館回数(小学校平均)	—	—	4.5回	6.5回	7.6回		
		学校図書館の週当たりの開館回数(中学校平均)	—	—	5.5回	6.1回	7.2回		
		学校図書館活用推進ページアクセス件数	—	—	—	2月開設	6,007件 		
	学校への支援と連携拡充	進捗把握指標	図書館活用の手引き配布	更新配布		更新配布		更新配布	
			学校支援(調べ学習図書整備)受入冊数	448セット	503セット	559セット	2,375冊	1,985冊	
			職場体験	108校	86校	83校	87校	91校	
成果指標		小中学校への団体貸出	69,436冊	82,010冊	96,160冊	108,718冊	118,447冊		
		図書館見学受入	248件	207件	236件	207件	247件		
		図書館での調べ学習支援	488件	538件	555件	643件	905件		
学校園(校務支援システム)からの商用DBアクセス	—	—	7月開始~		370件	311件			
学校園からの商用DB本文参照件数	—	—	—	664件	1,289件				
学校支援のページアクセス件数	2,562件	3,605件	6,922件	6,340件	7,131件				



## 4. 効率的な運営体制の確立

効率的で効果的な図書館の管理運営の推進  
関係機関との連携協力の推進

評価指標名(進捗把握指標)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
人材育成の推進	専門性向上と人材育成の充実に必要な研修の実施	全職員対象月次研修	9	10	11	11	11	
		担当者別研修回数	24	26	24	24	24	
	外部司書研修への派遣回数		73	69	86	79	88	
歳入財源の確保	新たな広告事業の実施と募集の強化		・周辺地図モニター広告募集開始(応募なし)	・図書館ホームページバナー広告枠拡大		・カレンダー作成 ・地域図書館HPバナー広告募集開始	・ネーミングライツ募集開始 ・ふるさと寄附金図書館募募集開始 ・自動車文庫車車体広告募集開始	
アウツ把握カム	利用者アンケートの実施	中央図書館利用アンケート	実施	実施	実施	実施	実施	毎年実施
		地域図書館利用アンケート	—	実施	—	実施	—	隔年実施
		その他のアンケート	自動車文庫利用について	—	—	インターネット環境利用について	—	
利用環境向上	Wifi環境整備		1館	1館	5館	5館	全24館	
	施設利用環境整備			・敷地内全面禁煙(中央館) ・トイレ改修(中央館・順次) ・案内表示の改善	・開館日増(蔵書点検短縮、12/28開館)		全24館閲覧室内飲み物緩和	
その他	システムの操作性・検索機能向上・業務の効率化			HP・検索の多言語一元化対応	システム更新によるランニングコスト減		翻刻事務等の省略可(DAのオープンデータ化)	
	民間委託の拡大(窓口等定型業務委託対象拡大)			資料受入業務・事業受付業務				
他機関連携	・他機関との連携強化による市民サービス拡充(新たな連携先)		・新美術館建設準備室との共催による連続講座実施 ・Googleマップで館内ストリートビュー公開	・映画会社連携「図書コン」実施 ・セレッソ大阪との事業連携開始 ・書店との連携による講演会の実施 ・大阪府立演芸資料館との共催展示実施	・ハローワークとの連携事業実施 ・NPO共催による多文化えほんのひろば実施 ・雑誌編集部との共催による講演会実施	・OsakaBook OneProjectとの共催による作家講演会開催 ・社団法人まちライブラリーによる大阪ブックフェスタ参加 ・大阪エヴェッサとの事業連携開始 ・オープンデータ京都実践会とのコラボによるウィキペディアアーツ開催	・大阪府との共催による講座・えほん広場実施 ・大阪府看護協会との共催「まちの保健室」の定例開催開始 ・国立国会図書館連携外国語書誌作成勉強会の実施 ・キッズプラザ大阪とのワークショップ連携実施	

実績値